



運 営 協 議 会 だ よ り

第10号

代表 近藤 弘文 校長 竹村 郷

第10回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 平成31年3月18日 17:00~18:20

■場 所 落合第六小学校 視聴覚室

■司 会 副校長 庖刀 由利子

1. 校長挨拶

皆様のおかげで無事60周年を終え、61年目に向かって参ります。PTAの広報誌が出来上がって参りました。後ほどご覧ください。

2. 内容 校長先生より

○平成31年度学校経営方針について

経済産業省「みらいの教室」の会議に出席

教育の流れが爆発的に早くなっている—文部科学省の指針では遅い 新学習指導要領も遅い
経済界の外敵圧力・・・時代の流れの教育を目指す

⇒学校経営方針を全面改訂しました

三方よし・・・「売り手よし(先生)・書いてよし(子ども)・世間よし(親・地域)」

【教師よし】・・・習得領域→主に教師が主導

低学年では大事だが6年生までやってはいけない

【子どもよし】・・・錬成領域→子どもと教師が共学・協働

みらい科・・・DASH・縦割り全校遠足・グラフィックレコーディング
プログラム

【世間よし】・・・創造領域→子ども・教師・保護者・社会・・・学校の外へ

錬成領域より JUNP する⇒これからの教育 目指す教育

地域協働委員の皆様とともに行っていきたい

○放課後運動について 4月より

月	バレーボール	学習支援員	春高バレー	時間
火	サッカー	元J3プロ		低学年—14:30~15:15
木	ダンス	卒業生のプロのダンサー		高学年—15:30~16:30
金	陸上	校長		

・有料課金制・・・一律 月1,000円何種目でも料金変わらない

1学期4,000円、2学期4,000円、3学期3,000円 運営していきたい

・運営を保護者及び地域ボランティアへ有償で依頼する 1種目2名

交代で学校に来て頂けると学校の理解者が増える

・5年後、10年後に子どもたちが指導者となって戻ってくる

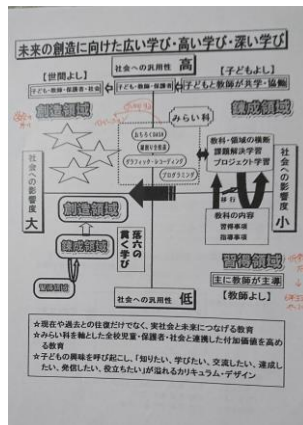
・地域方が指導者となって種目が増えて行ければ望ましい

・運動をする機会、地域の方とのコミュニケーションをとる場となれば

・放課後広場の自由遊びを確保するために校庭と体育館と交互に使う

【意見交換】 近藤会長進行

・取り組みは良いが人材を集めるのが大事



- ・ 集金は払う方は毎月の方が良いと思いますが、管理する側は大変
- ・ 子どもの居場所の確保のためには良い取り組みだと思います。運営上 100 名の登録が必要となると目的を持った活動のほうが集客を見込めるのでは
- ・ 経済産業省には教育の部署はないのでは？

回答) デジタル基盤はひとり 1 台必要の時代だが実際に導入は出来ていない…現教育現場

企業には古い眠っている PC が沢山ある→バージョンアップして教育現場に配布すればよい

⇒企業を動かせるのは経済産業省…この先生を抜くための教育

- ・ デジタル基盤についてですが、学校での環境はもちろんですが家庭の環境も考えてあげたら良いのでは。家庭のパソコンの利用率はどのくらいでしょうか？
- ・ スマホ時代だからパソコンを利用しない家庭も増えているように思えます。
- ・ プログラミングなどスマホでは出来る限りがあると思うので家庭でもパソコンを利用してほしい。
- ・ 放課後運動クラブにスポーツではないがプログラミングを入れたらパソコン利用も放課後クラブの登録者も増え、月の利用料も 2,000 円にしても高くないのでは
- ・ デジタル機器を与えるのであれば利用のリスクを子どもも大人も理解してデジタルタトゥーの言葉のように書いたものは消すことが出来ないなど伝えなくてはいけない。そして万が一間違えを犯してしまったときに隠すのではなく、近くのいる大人の相談出来る環境を与えてあげたい。信頼できる大人の存在が大切。
- ・ PTA 活動が大変と言われる時代ですが、育成会などそこも縦割り班なんです。大変なことばかりではないです。
- ・ どんなに最先端の機器を使っても最後は人の心なんだと思えたことが良かった

【次回の予定】

5 月 14 日（火） 17:00～ 落合第六小学校 視聴覚室にて

【出席者】

近藤 弘文、橘 完太、北野 清治、橋田 稔、鈴木 正実、篠田 邦子、亀井 治子、
水上 真理、竹村 郷、大久保 京子（書記兼務）
庖刀 由利子（副校長）、
遠藤 剛（落合第二地区 特別出張所 所長）